平成26年度第2回大和市文化財保護審議会会議 会議録

		,
会議名 (審議会等の名称)		平成26年度第2回文化財保護審議会
開催日時		平成27年3月24日(火曜日)14時~16時
開催場所		大和市役所 5 階 委員会室/大和市郷土民家園
出席状況	委員	5人
	その他	公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団 3人
	事務局	文化スポーツ部長、文化振興課長、市史・文化財担当係長、他担当2人(計5人) 文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当 内線(5225)
	傍聴人数	0人
公開・非公開の状況		■公開 □非公開 □一部非公開
非公開・一部非公開の場合 はその理由		
審議又は検討経過及び結果		(1)会議次第 1、平成26年指定管理者業務実施状況調査(大和市郷土民家園)※現地視察 2、その他 (2)審議及び結果 主な内容は次のとおり
		 1、平成26年指定管理者業務実施状況調査(大和市郷土民家園) ①事業説明(指定管理者職員(公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団)) ・質問や意見は次のとおり(●:委員 ◆:説明者)
		〔ボランティアについて〕●ボランティアの現在の人数は、適当な人数なのか。◆現在の人数は18名(男性10名、女性8名)。現場としては少ないと感じており、あと4~5人が増えるとよいと考えている。
		●ボランティアはどのようなことをしているのか。◆男性は工作系の事業の手伝い、かまどなど火を使う作業や力仕事など、女性は調理、お手玉の製作などを担っている。
		●ボランティアの募集方法については、どのような方法を検討しているのか。 ◆平成26年9月から、機織り機の実演・体験の再開を目指して練習を行っていたところ反響があった。実際の作業を見て興味を持った方に声かけし、簡単な手伝いから始めてもらう方法が良いと考えている。
		 小田原城の資料館には、ボランティアが108名いて、来館者に展示解説等を行っている。郷土民家園でも、建物の特徴や見所を説明できるボランティアがいると良いのではないか。 ●ボランティアによる展示解説では間違ったことを言ってしまうリスクもある。 ●自分の言葉で説明をすることに興味を持っている人は多い。 ●自分のペースで見たい来園者もいるので、解説を希望する人が気軽にスタッフに声をかけられる環境づくりができると良い。

- ●ボランティアに対して御礼をしているか。
- ◆調理系の事業を行った後に、残った料理を皆で食べるお疲れ様会のようなこと は行っている。
- ●ボランティアに資料整理を手伝ってもらうことはメリットがある。
- ●ボランティア活用にあたっては、どのような場を提供できるのかについて吟味する必要がある。 募集時には活動内容を明確にした方が良い。
- ●他の施設では、資料整理を行う非常勤職員が解説ボランティアを担うケースもある。資料を理解しているので展示解説の役に立つ。
- ●ボランティア解説では、各分野の専門家のレクチャーを受け、解説の手引きを 作成するとよい。
- ●「泉の森スタンプラリー」は今年度の新規事業だが、参加者へのアンケートは 実施したか。
- ◆実施していない。
- ●新規事業では市民目線の意見を聞いてもらいたい。参加者の要望を聞けるよう な体制を取ってもらいたい。
- ●事業の告知をポスターについて、資料に例示している場所以外で掲示しているか。
- ◆財団管理施設以外での掲示は行っていない。
- ●駅など人が多く利用する場所へのポスター掲示は効果が高いと思うので、検討してもらいたい。

②現地視察 大和市郷土民家園

- ・旧北島家屋根葺き替え事業について現地で説明。
- ・現地で出た質問や意見は次のとおり。
- ●古民家の燻蒸(囲炉裏の火起こし)は毎日実施するのが理想的。人の居住しない 家は傷みが早い。
- ●敷地面積等さまざまな制約があるが、畑の拡張、豚等の家畜飼育などができると施設の魅力がアップする。

2、その他

《特になし。》